

会員各位

第 235 回  
**Klub Zukunft 月例会**  
— 歴史・文化に親しむ会 —

仲春の候 すこし春らしい季節となりました。皆様の活動はいかがでしょう？

さて、令和8年3月の第235回月例会は、昨年第231回月例会でお話いただきました関西大学文学部教授 宮本要太郎様を再度お迎えし、「世間教」から「世間道」へ—共感とケアがひらく日本宗教の未来」と題してお話しをしていただきます。

前回の「世間教の宗教改革」という視点を踏まえ、今回は「世間道」という考え方から、「無宗教」とされる日本人が日々の暮らしの中で育んできたケアと共感の力を見つめ直します。制度や信仰を超えて人と人を結び直す実践としての宗教的な感覚に光を当て、具体的な事例も交えながら「新しい世間」の可能性を考えます。

- ・ 永年比較宗教学に取り組んでこられ、日本独自の宗教観がどのような歴史をたどって現在に至ったのか？
- ・ 欧米人からは理解できないような、生活規範はどこから生まれてきたのか？

基本的な日本人の宗教の歴史的経緯、そして現代人の宗教観がどこから来るのか？を前回はお話いただきましたが、現在の欧米人と日本人の宗教観の違いについて、比較宗教学の専門家として前話し足らなかった日本人の宗教問題を語っていただきます。

身近な問題として興味のある方は是非参加していただき、日本人の宗教性について理解を深めていただきたいと思います。

皆様のご参加をお待ちしています。また、皆さまのお友達にも参加の働きかけをしていただき、ご一緒にご出席いただければと思います。どうぞよろしくお願いたします。

◆ 日 時：2026年3月25日（水曜日） 15:30～17:00

◆ 場 所：大阪公立大学 文化交流センター  
大阪市北区梅田 1-2-2-600  
大阪駅前第2ビル6階

◆ テーマ：「世間教」から「世間道」へ  
—共感とケアがひらく日本宗教の未来—

◆ 講 師：宮本 要太郎（みやもと ようたろう）様  
関西大学文学部比較宗教学 教授

◆ 参加料：正会員； 500円  
賛助会員&一般； 1,000円

◆ 月例会への参加は、下記メールアドレス宛に、お名前と月例会と懇親会それぞれの出欠をメールにてお知らせください。  
klub.zukunft@gmail.com



以上